

北総里山クラブミーティング記録

2006年9月22日(金) PM7時～8時半

白井市保健福祉センター3階ボランティア室

参加者：長谷川、永瀬、坪井、齋藤、堺(義)、堺(初)、
森田、秋井、鈴木、丹澤、相馬(成)、相馬(な)

- 議題①7つの団体を統合する団体名を『北総里山クラブ』とすることについて
- ②ガイドブック形式の要望書をまとめることについて
 - ③活動経過を北総里山クラブの会報として整理していくことについて

保全に関する行政の動き

———白井市、印西市の間で、保全の具体的方策を立てるため、
県とも相談しつつ色々な協議が始まっている———

- ・10/27 印旛沼流域水循環健全化会議の“わいわい会議”で白井市が、『湧水保全』のテーマで参加。当日、長谷川先生出席。
- ・来年、印西市が自然環境調査を開始する予定。(コンサルは未定)
- ・武西地区に、売却の引き合いが多くきている。(保全していく動きが公開されれば、事業者の買い付けが加速する可能性もある。行政の公開するタイミングが難しい。)
- ・印西市では、市民と行政の協働まちづくりの一環で、今年度中に《まちづくりファンド》を作る計画。そのまちづくりファンドを谷田・武西地区保全にも使わせて欲しいと提案している。例えば、ゴミの撤去、フェンス、木道など……RCNの鈴木さんより
- ・武西・谷田地区の保全の要望書を未来のガイドブック的なものでまとめるということを白井市には受け入れてもらった。印西市には、もう少し話を進めてからもって行く予定。

議題① 7つの団体を統合する団体名を『北総里山クラブ』とすることについて
『北総里山クラブ』という名称を 7団体の正式名称として承認。
(欠席者からの同意も得ていることを確認の上)

議題② ガイドブック形式の要望書をまとめることについて

まず長谷川先生より、スライドにより 追加項目の説明がなされる。

ガイドブックの前半には、自然の見方、次に、環境ごとの生きもの、
最後に この地域をとりまく全体のあり方を載せていく。
(散策マップ的なもの、ゴミの写真など、改善して欲しい点の項目も盛り込む)

意見交換

- ・要望書とガイドブックを分けたらどうか
- ・むずかしい感があり、脈絡がはっきりつかめない。
- ・現在、この地区で活動している団体があることを紹介し、戦略として 今後の行政の受け皿と成りえる事を示したらどうか。
- ・散策した時、具体的にどこで休憩し、どこで昼食・・・などの具体性が欲しい。
- ・色々内容を詰め込んでいる分だけ、相対として、主張が薄まっているのではないか？
- ・表記上の間違いをなくすこと、同じ文章が使われている部分があるが考慮しなおすこと、作成の意図がよく伝わるように編集をしなおすこと
- ・事務局の機能を持つ組織が必要なのではないか
- ・一番根っこの部分に何を残すか、何をおさえるかを しっかり伝えていく。
- ・谷田・武西の位置が分る地図を加える。
- ・ルーズリーフ形式にどんどん中身を入れかえられるようにして、要望書などの用途に応じて必要項目のみ抜粋していけるようにしたらどうか。
.....その他にも、色々な意見が出されました。

長谷川先生より

みなさんにお配りした『谷田・武西ガイドブック』は、あくまでもたたき台で、これをきっかけに、議論を進められたら・・・というつもりで作っています。

要望書については、今まで文書による要望書は散々出してきているので、次のステップに進むためには、具体的な保全のイメージを喚起するものでなければ・・・と思っています。

「こうしてもらいたい」という私たちの要望を未来型のガイドブックという形で提案し、そして、このガイドブックを持ってみんなを説得しにいこう・・・・・・そう思っています。

そのためには、従来の堅苦しい要望書というものではなく、自然の見方、いきものを中心にすえた現状、この地域をとりまく全体のあり方という構成で、図面、写真で具体的に表現していくつもりです。

また、いずれは、養成講座を終了したメンバーには、ガイドツアーを委嘱されることを想定し、ガイドの人のための種本ともなるように想定もしています。

10月に再度チェックを入れ、11月までに形を整え、今年度中に印西市・白井市・千葉県へ要望書として提出する段取りです。

直接、面と向かって意見を言いづらいたとは思いますが、メール等で意

見をいただけたらと思います。

議題③活動経過を北総里山クラブの会報として整理していくことについて

今年の8月までの活動経過を一旦締め、要望書と一緒に提出の予定。

北総里山クラブの活動をみんなで共有化することで、各々の保全運動の施策のための資料としていく。以上

次回連絡

2006.10.13 金 19:00~

ウエルプラット（ボランティア室）

・ 武西・谷田ガイドブックの内容検討など